

## 第5回 教育委員会 会議録

- 1 開催日時 令和5年5月16日(火)午後1時25分
- 2 開催場所 大町市役所 西会議室
- 3 出席委員 教 育 長 中 村 一 郎  
同 職 務 代 理 者 中 山 晴 隆  
委 員 下 川 清 志  
委 員 森 し の ぶ  
委 員 北 澤 明 美
- 4 説明のため出席した者  
教 育 次 長 太 田 三 博  
学 校 教 育 課 長 平 林 政 規  
生 涯 学 習 課 長 藤 卷 孝 之  
ス ポ ー ツ 課 長 松 下 明 夫  
山 岳 博 物 館 館 長 鈴 木 啓 助  
国 民 ス ポ ー ツ 大 会 準 備 室 長 牛 越 秀 仁  
学 校 教 育 指 導 主 事 吉 澤 清  
学 校 教 育 指 導 主 事 山 岸 澄 雄  
学 校 教 育 課 学 校 再 編 係 長 一 本 木 晋
- 5 事務局 学校教育課庶務係長 平 林 晃
- 6 傍聴者 一 名

中村教育長：予定の時間より早いですが、これより第5回教育委員会を始めたいと思います。よろしくお願ひいたします。

議事録の承認は今、回っておりますので、よろしくお願ひいたします。

それでは「3 教育長報告」ということで、私から報告したいと思います。

中村教育長：資料により説明

次に報告事項ですが、学校における児童・生徒の事故等報告ということでお願ひいたします。

平林学校教育課長：資料により説明

【非公開】

中村教育長：続きまして、議事の方に移りたいと思います。

最初に「報告第1号 令和4年度大町市一般会計補正予算について」説明お願ひします。

太田教育次長：資料により説明

中村教育長：説明が終わりました。ただいまの一般会計補正予算について、質問等ありますでしょうか。

それでは、この件につきまして、ご承認をいただきました。

続きまして、「議案第29号 大町市社会教育委員の委嘱について」説明をお願ひします。

藤巻生涯学習課長：資料により説明

中村教育長：ご質問ございますか。

ではこの件についてもご承認をいただきました。

続きまして、「議案第30号 大町市公民館条例の一部を改正する条例制定について」提案お願ひします。

藤巻生涯学習課長：資料により説明

中村教育長：この件について、何か質問ございますか。

よろしいでしょうか。

この件についてもご承認をいただきました。

続きまして、「議案第31号 大町市文化会館条例の一部を改正する条例制定について」提

案願います。

**藤巻生涯学習課長**：資料により説明

**中村教育長**：ご質問等ありますか。

**中山教育長職務代理者**：先ほどの大町公民館の方は 550 円、今回の文化会館の方は 1 台 100 円ということですが、根拠はどうなっていますか。

**藤巻生涯学習課長**：文化会館につきましては、新規で設置ということではなくて、もともと部屋全体で、空調機 2 台で 200 円のところ、1 台のみ使用する場合 100 円という料金設定を新たに設けるといいます。

また、公民館分室につきましては、新たにエアコンを設置したものでして、単価については、積算をしたなかで、550 円という金額を算出しております。

**中村教育長**：ご承認していただくことでよろしいでしょうか。

それでは議事は以上となります。

次に「6 協議事項」に移りたいと思います。

最初に、各種審議会の委員の選出について、事務局説明願います。

**平林庶務係長**：資料により説明

**中村教育長**：引き続き森委員さん、お願いできますか。

**森教育委員**：はい。

**中村教育長**：では、森委員さんが受けていただけるということですので、よろしくお願います。

次に、主幹指導主事の学校訪問の日程について、説明願います。

**平林庶務係長**：資料により説明

**中村教育長**：では続きまして、「大町市におけるいじめ・不登校の状況について」報告をお願いします。

**山岸学校教育指導主事**：資料により説明

中村教育長：ご質問等ありましたらお願いいたします。

森教育委員：41 ページの、いじめの学年別認知件数で、6 年生が多いようですが、その事由として SNS を使ったというものがあるのでしょうか。

山岸学校教育指導主事：詳しい事由については、調査中ですが、SNS を使用したのものもあると聞いております。

下川教育委員：大町中に設置した中間教室は、まだ設置後 1 カ月というなかで効果ということとは難しいと思いますが、使用実績等分かる範囲でお願いします。

山岸学校教育指導主事：この 1 ヶ月の間にスクリーニング会議というものを開き、不登校のきっかけになった状況についての把握を行っております。

北澤教育委員：44 ページの（3）の表にある中 3 の 19 名ですが、卒業後の進路など、分かる範囲で教えていただきたい。

中村教育長：この 19 名中、2 名が家庭にいる状況であり、残りの方は選択した進路に進んでおります。

進学したお子さんの状況については、生涯学習課のキャリア教育指導員が各高校を巡回していますので、そこで更に把握をしていきたいと考えております。

あと在学中に、この北澤指導員と繋がっているお子さんについては、何かあったときには連絡がとれるようになっていますが、そうではない子供たちについては、高校を通して状況を把握しながら、希望があればそこに支援をしていくことも可能かなと考えております。

北澤教育委員：1 回挫折してしまうとなかなか立ち直れないと思うので、辛抱強く行っていただきたいと思います。

中村教育長：昨年度の実績で言いますと中学生が 55 名ということで、平成 29 年度を上回るような状況です。

まだ個々の子供たちの休んでいる状況については、まだしっかり把握できていない部分もありますので、やはり個々について分析していかなければならないということは思っております。

とても多くの子供たちがそういう不登校という状況になっていますので、今年度は少しでもこういうお子さんを少なくしてかなければということで、教育委員会としても、様々な形

で各学校の方へまた支援をしていきますし、いろいろ一緒になって考えていくような取り組みをしていきたいと考えております。

**下川教育委員**：45 ページの（7）外部機関を利用している児童生徒数ですが、これは例年このくらいの数字ですか。

**中村教育長**：アルプスの家についてはほぼ例年と同じです。

それから、ここにある数字はどちらかと言えば、登録人数で、実際に行っている人数は、この人数をだいぶ下回ります。

今年度は、そういう傾向もありますので、アルプスの家の子供たちへの指導内容を検討しているところで、イベント的な活動を多く取り入れて、子供たちが、楽しんで参加できるといった方向を模索していますので、その辺の成果についてご報告できたらというように思っております。

あと「たからばこ」は、以前よりも大分減りました。  
なぜかと言いますと、「たからばこ」に行かなくて、キッズウィルの方で生活しているお子さんが大分多い状況であります。

あと「ぼれぼれ野の花」も、大分減ってきています。

ここは純粹に学習支援です。指導員の方がいて、勉強をほぼマンツーマンで見てくれるのですが、希望するお子さんが少ないなというように思います。

あとフリースクールの「アルピオン」ですが、ここは毎年このようなぐらいの人数かなと思います

またこの他に市内ではないフリースクールに行っているお子さんも、把握しているだけで1名います。

そんな形で外部機関を利用しているお子さんは、大体例年と同じ程度かと思えます。

私たちは、不登校というと、全く学校に行けないのではないかと思いがちなのですが、そうではなくて、いろいろなパターンがあって、家に引きこもってしまうようなお子さんもいれば、学校にも通いながらも、毎日に行けなくて、休みながら自分で休養して、エネルギーを貯めてまた行くという、そういうお子さん達も多くいるというのが現状かなと思います。

**下川教育委員**：やはり、学校に行かないというイメージがある。

何かイベント的なみんなと関わるもので、外に出るという工夫もあっていいのかなと思う。

**中村教育長**：他に何かございますか。

では続きまして、「新小学校の名称について」ということで、事務局、説明をお願いします。

**一本木学校再編係長**：資料により説明

**中村教育長**：この件に関しまして、質問、ご意見等ありましたらお願いいたします。

**下川教育委員**：今回、2校の校名募集になりますが、2校セットでの応募となるのか、どちらか1校での応募も可能となるのか、その辺の考え方はどうなっているのか。

**一本木学校再編係長**：必ず2校の名前を出してくださいというようなことは言えませんので、どちらか1校しか出さない場合でも応募は出来るものと考えています。そこに縛りを設けるようなことはしない予定です。

**下川教育委員**：募集した結果を、準備委員会の全メンバーで、何らかの形で、候補を絞り込むという中学校と同じやり方となるのか。

**一本木学校再編係長**：はい。絞り方についても、委員会の中で決めてもらうことになるかと思えます。

前回は、候補を何点とするかも含めて、準備委員会の方で、検討していただいた。

今回の再編準備委員会についても、部会を設けることができるようになっていきますので、細かく設けてやりたいということであれば、部会にて検討することもできるかと考えております。

**中山教育長職務代理者**：資料についてですが、西小学校は大町小学校の流れとなっているような感じになっていますが、校名を東西南北としたときに、大町小は、新たな小学校として大町西小学校としてスタートしたと理解している。そういったことがわかるような、表し方が良いのではと思う。

**一本木学校再編係長**：まだ時間はありますので、見せ方をもう少し考えて、新しい学校なんだという部分を強調するような形で、資料を整えたいと思います。

**中村教育長**：事務局の方で、その辺のところまで検討していただくということによろしいでしょうか。

**下川教育委員**：6月の広報に、小学校の再編に関しての記事が掲載となるようですが、その記事において4小学校のこれまでの沿革に関する記事があるが、この内容について再検討する必要があるのではないかと思うがいかがでしょうか。

**一本木学校再編係長**：少しレイアウトを変えたいと思います。

そもそも事務局としては、あくまでも新校の名前を決定しますという記事の付属の資料という形のものが、若干変わってしまっているので、ここは、変えたいと思います。

広報には修正がまだ間に合うとのことでしたので、大きくは小学校再編の概要、それから準備委員会の設置に関して、それから、新校の名称を決定しますという大きな見だしを三つにして、その付属の資料として、出したいと考えています。

**中村教育長**：他に何かございますか。なければ、続きまして小学校の施設整備について、事務局説明願います。

**一本木学校再編係長**：市内小学校児童数シミュレーションについて説明

**平林学校教育課長**：大町・平地区小学校の整備について説明

**中村教育長**：ここまでの説明でなにかございますか。

**森教育委員**：プロポーザルに関して質問させていただきます。

特定テーマには、「学校づくりの理念」や「コンセプト」なども含まれるのでしょうか。

**平林学校教育課長**：今回はこのような案ということで示しましたが、理念を盛ることは可能かと思います。

いろいろなところでプロポーザルが実施されており、求める目的を明確にした方がより良い提案がされるといわれているようですので、今回いわゆるマニュアルや安全安心な学校といったそういうものは省いた形のテーマとしております。

**中村教育長**：他にいかがでしょうか。

**森教育委員**：パブリックコメントの取り扱いについて、業者とかには、どう反映させていくのでしょうか。

**平林学校教育課長**：まずは、すでに審査会にける配置図が提出されてきますので、それを市民の皆さん等が見やすいように、きちっと整理しまして、意見を募集することが目的としております。大きな変更はできないですが、できるものはしたいというような形のものなので、あくまでも意見募集ということです。

**下川教育委員**：言い方のイメージを合わせないといけないかなと思っていますが、今回選定する業者は、施設の改修図面を引く業者を選ぶということで、この業者が、業務完了の時までに、新しい小学校の青写真を作り上げて、そのあと、来年からその青写真に基づいて小学

校を作っていく工程がスタートすると思うのですが、それはまた別途、入札等によって、施工業者を決めるという流れで間違いないでしょうか。

**平林学校教育課長**：設計は今回の業者が行い、改修工事の施工業者は入札で、また新たに決定することになります。

今年度の成果につきましては、委員の言う通り、令和8年度に作ってもらう図面を作っていただくことになります。

**下川教育委員**：7月中旬にある審査委員会では、業者はどういった資料を提出して、審査されることになるのでしょうか。

**平林学校教育課長**：今回につきましては、提案いただくのは配置図となります。

**下川教育委員**：それはあくまでもその業者の力を試すものであって、出てきた配置図で完成まで、その内容で建築するという話ではないですよね。

**平林学校教育課長**：基本的な部分はその配置図により施工となりますが、若干は変更が可能なものと考えております。

**下川教育委員**：教育委員会や総合教育会議でも、現場の先生の意見を図面に反映して欲しいという意見が出たと思うが、⑥の設計業務のスケジュールで言うと、そういうことができる期間というのは、あるのでしょうか。

**平林学校教育課長**：別に委員会等を設ける訳ではなく、パブリックコメントに含めて、意見をいただきたいというように考えております。

**下川教育委員**：例えばパブコメで「多目的室を3室作ってもらいたい」といった意見が出てきた場合に、もともとのその業者の案に対して、3室追加する案を業者に作り直してもらうのか。

**一本木学校再編係長**：基本的に、教室数を増やすとかというようなことは想定しておりません。

児童数等をシミュレーションして、これだけの教室が最低限必要ですということを決めて部屋数もある程度業者にお示しするわけですから、部屋を増やしてくれという発想はないと考えています。



**下川教育委員**：今の説明ですと、ここに記載されている部屋の数については、先ほどの児童数のシミュレーションからと、多目的な部屋が必要だという、先生方の意見も全部含めて、この部屋数が適切であるという理由付けができるということか。

**一本木学校再編係長**：小学校の施設整備指針や学校の設置基準など法律で定められていて、これだけの児童数等の場合には、これだけの部屋が必要だということが書かれておりますので、それを原則に算出することになるかと考えております。

従って、特色ある教育を進めるから、教室を増やしてくれという話は、今回のパブコメで聞くわけではありありません。

**平林学校教育課長**：そういった意見が出てきたら、今、話したような考え方で、部屋数を設定しておりますといった回答となります。

**下川教育委員**：特定テーマのところ、「策定にあたって寄せられた意見等も反映して提案する。」と記載されているが、これはこういった意見を想定しているのか。

**平林学校教育課長**：例えば校地選定にあたってパブリックコメントを実施しており、これに対して回答済みのものもありますが、そのような意見も踏まえた上で提案をしていただきたいということで、このような表現とさせていただきます。

**下川教育委員**：こういう学校を作って欲しいという意見に対して、教育委員会として協議してこうしますという方向を示しているの、それをちゃんと理解して、提案していただきたいと思います。

私が部屋数についてすごいこだわりを持っているのは、去年 12 月に施設縮小案というのがいきなり出され、「低学年棟を作らない方向で進んでいるらしいけど、それって後出しジャンケンだよ」なんて言った人もいた訳です。

最初は低学年棟を作るという案で始まったが、様々な検討の結果、必要最低限、安心安全にうまく生活できる学校を作るとしたらこのくらいの教室数等で十分であって、それを実現したら、低学年棟は必要ない案で済みましたという、そういった説明が必要かなと。

先ほど説明していただいて、国の基準なりに基づいていけば、ここにある数字で、十分であるということなので、その数をベースにして業者に配置案を出してもらおうということではないかなと思いました。

**中村教育長**：教室数などについては、この規模ならこれだけの教室数ということで、ある程度文科省の指針というものも出ていますので、やはりそれに基づいて作らないと補助金などの関係もあると思いますので、やはりそれを基準に考えることが必要だと思っています。

その上で、校舎の配置や教室の配置ですとか、教室の確保をどのようにしていったらいいかというのが、設計業者さんの方で、提案していただいて、それに基づく検討というところが妥当ではないかと思います。

**下川教育委員**：屋外環境という点で、遊び場や運動場、菜園とか、緑地などについても、このくらいの規模の小学校だと、このくらいという基準はあるのでしょうか。

**平林学校教育課長**：ここに小学校施設整備指針がありますが、細かな面積とかまでの明記はなく、望ましいとかそのような表現となっています。

**中村教育長**：他に何かございますか。

**北澤教育委員**：審査委員会の委員に「有識者等」とありますが、どのような方を想定しているのでしょうか。

**平林学校教育課長**：今回、有識者等3名以上ということで、案を出しております。

今まで大町市としていくつかプロポーザルの実績がございますが、過去の、建築の設計業務委託に関しての実績を見ますと、建築士の資格を持った方が、この委員会の構成メンバーとして入っておりましたので、その方は必要だと考えております。

あとの方につきましては、委員長が副市長ということで決まっておりますので、副市長と相談しながら考えて参りたいと思っております。

**北澤教育委員**：実際、学校を使われる先生たちの側のご意見を入れていただけるような人選は無理なのでしょうか。

**平林学校教育課長**：教育委員会の意見として、委員長となる副市長と相談しながら、可能なか判断していきたいと思っております。

**下川教育委員**：私も同様に考えておまして、特定テーマに対する技術とありますが、もちろん建物を作るので、ハードの専門家、建築家が、ちゃんと評価しないといけないとは思いますが、その学校を使う立場の人の視点も、この審査委員会の中で必要だと思うので、例えば教育の専門家、大学の先生など、そういう専門的な方も入れていただければと思います。

**森教育委員**：スケジュールの件で、校地選定の際の図面と大きく変わる可能性があると思いますが、このことを市民の皆さんに丁寧に説明していかないといけないと思いますが、それはこのスケジュールの中でどのタイミングとなりますか。

**平林学校教育課長**：その部分については、今回のスケジュールに示しておりませんが、学校再編ニュース等で、きちっと皆さんに説明していくことになるかと思えます。

**下川教育委員**：私はそのタイミングはパブコメを出す時だと思います。

西小にするか一中にするか議論したときに、一中を使うとしたらこういう教室の配置や、低学年棟を作り、プレールームを作り、こういう配置にするという案を市民の皆さんに示しています。その時の議論はこういう案でやりましたが、新しい小学校の規模、適切な設備等を検討し、それに基づいて業者に提案をいただいた結果、こういう配置案が出てきて、審査会の中でこういう案を提案したこの業者と、今後具体的な検討を進めるということになりましたという説明をするのがパブコメのタイミングではないかと思っております。

流れ的には変なことをやっているとは思っていませんので、そこはやはり丁寧に説明していかないといけないと思います。

**平林学校教育課長**：これまでも丁寧にやってここまで進んで参りましたので、しっかり説明をしていきたいと思えます。

**中山教育長職務代理者**：パブリックコメントで何を求めるのか。

先ほど説明があったように学校を建築するための基本的な指針があるから、新しく教室を増やとか、こうした方がいいっていうことを、仮に出されても、困ってしまうと思うし、パブリックコメントで一般の市民からそれほど細かい意見を求めるのはどうかと。

学校の配置など、学校の先生方の意見を聞いたり、子どもが学校に行くのが楽しみになるような校舎の建築について、専門家の意見を取り入れたりといったことはすべきと考えるが。

**下川教育委員**：私は新しい学校の配置や環境整備について現場の先生の意見を反映してもらいたい。

学校の先生方、或いは場合によっては、学校運営協議会の委員の人くらいまでは話を聞いた方が良くも思えないと思う。

**中村教育長**：設計業務の進め方については、事務局の方でまた検討させていただくということでもよろしいでしょうか。

**北澤教育委員**：審査委員のなかに女性の目線も必要かと思えますので、ぜひ女性の委員もお願いしたいと思えます。

**中村教育長**：ここで、10分休憩を取りたいと思えます。

～休憩～

**中村教育長**：それでは時間となりましたので、先ほどの続きの大町南小学校の施設の概要ということで、事務局から説明をお願いします。

**一本木学校再編係長**：資料により説明

**森教育委員**：学校訪問の際に先生からトイレの改修をぜひとのことでしたが、その点はいかがでしょうか。

**一本木学校再編係長**：基本的に長寿命化という方針ですと、これはほとんど骨組みだけ残してあとは全部直すということになりますので、トイレも改修されることになるかと思います。

**平林学校教育課長**：南小については、洋式トイレが少なく、休み時間になると行列ができる場合もあるとのことでしたので、今年度予算におきまして洋式化という予定となっております。

**下川教育委員**：改修するにあたって、別棟を作って、そこに子供たちが移動して改修が終わったら戻ってといった、そういうやりとりは工事に必要だということになるのですか。

**一本木学校再編係長**：今現在の方針でいくと仮設校舎を建てないとできないかと思われれます。

ただし、それは令和8年度に東小学校の児童が全部移ってきた状態で工事をする場合を想定して今まで話をしてきましたが、令和7年度から工事ができるようになれば、また違った方法もあるのかなと考えております。

**中村教育長**：他にはよろしいでしょうか。

では続きまして、第82回国民スポーツ大会・第27回全国障がい者スポーツ大会開催に向けたスケジュール計画（案）について、説明願います。

**牛越国民スポーツ大会準備室長**：資料により説明

**中村教育長**：ありがとうございました。

今の説明について何かございますか。

**中山教育長職務代理者**：この工事をやっている際に、例えばアルプスマラソンとかそういう今までやっていたイベントというものはどういうふうになるのでしょうか。

**牛越国民スポーツ大会準備室長**：関係団体と協議していかなければならないものと考えておりますが、建物を解体している場合ですとか、管理棟の改修時だけといった部分であれば、やり方はあるのかなと思っています。

運動公園自体は非常にスペースがありますので、できるものは出来る限り、やれるような形としたいと考えております。

**中山教育長**：この件についてよろしいでしょうか。

それでは、続きまして「令和5年度大北地区教科書採択事務について」説明をお願いします。

**吉澤学校教育指導主事**：資料説明

**中村教育長**：何かございますか。

それでは、連絡事項ということで、説明をお願いします。

**平林庶務係長**：資料により説明

**中村教育長**：第7回の教育委員会は、7月26日水曜日、午前10時から開催ということで、お願いいたします。

それでは、長時間に渡りましてありがとうございました。

以上をもちまして第5回協議会を終了させていただきます。ありがとうございました。

《16：12 閉会》